

公益財団法人長尾自然環境財団  
2023年度 若手研究者育成プログラム (CGF プログラム)  
募集要項

## プログラムの趣旨と特徴

若手研究者育成プログラム（通称：CGF プログラム；NEF Commemorative Grant Fund for Capacity Building of Young Scientists）は、アジア・太平洋地域の途上国の優れた若手研究者が、野生動植物の保護や自然生態系の保全に関わる生物学分野で、世界レベルの研究者に成長するキャパシティ・ビルディングを目指しています。具体的な助成対象は、若手研究者がプロジェクト・サイエンティスト（PS）として、優れた研究実績をもつプロジェクト・コーディネータ（PC）の指導・支援を受け、自国（あるいは対象国）または留学先の日本で行う野外調査を主とする研究です。

### 1. 対象国

本プログラムの対象国は以下のとおりです。

インドネシア、カンボジア、キリバス、サモア、スリランカ、ソロモン諸島、タイ、ツバル、トンガ、ナウル、ネパール、バヌアツ、バングラデシュ、パプアニューギニア、パラオ、東ティモール、フィジー、フィリピン、ブータン、ベトナム、マーシャル諸島、マレーシア、ミクロネシア連邦、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス

### 2. プロジェクト・サイエンティスト（PS）の応募資格

- (1) 上記対象国の国籍をもつ40歳未満で、かつ以下のいずれかに該当する者。
  - ◆ 上記対象国の大学など研究機関で研究に従事する博士号取得者（あるいは、少なくとも3年間の研究実績と相応の研究業績をもつ者）  
（応募資格Aとする）
  - ◆ 日本の博士後期課程在籍者または博士後期課程への入進学内定者  
（応募資格Bとする）
- (2) 申請書提出時に当財団の他のプログラムで助成を受けておらず、申請もしていないこと。

### 3. プロジェクト・コーディネータ（PC）の要件とその役割

- (1) PSが応募資格Aの場合は、以下のすべての条件を満たしていることがPCの要件です。
  - 原則として日本の大学・研究機関等に所属するか所属した経験をもつ研究者
  - PSの研究プロジェクトの内容を十分に理解している者
  - PSの研究プロジェクトを、必要に応じてPSの所属機関の研究者などとも協力し、企画立案から成果の報告・公表までを指導・協力する者
  - 当財団と密にコミュニケーションをとって研究プロジェクトを推進する者
- (2) PSが応募資格Bの場合は、PSの主旨指導員であることがPCの要件です。なお、「当財団と密にコミュニケーションをとって研究プロジェクトを進める者」であることも、要件とします。

### 4. 助成対象に必要な研究プロジェクトの条件

- (1) PSがPCの助言・支援を得ながら企画立案し、野外調査においても研究代表者として実

施する研究であること。

- (2) PS が応募資格 A の場合は、PS の所属機関の長から実施の承諾を得ている研究で、かつ自国（あるいは対象国）で実施する野外調査を主とする研究であること。
- (3) PS が応募資格 B の場合は、博士論文に関わる研究で、かつ自国（あるいは対象国）または留学先の日本で実施する野外調査を主とする研究であること。

## 5. 助成対象となる研究分野・視点

野生動植物の保護や生態系の保全に貢献する調査研究で、以下のような研究分野に該当するか、あるいは研究視点をもつものとします。

- ◆ 生態学、生物分類学、野生動植物の分布・現状把握などの生物学分野
- ◆ 生物多様性（種の多様性、遺伝的多様性、生態系の多様性など）
- ◆ 希少種、外来種、生態系の回復
- ◆ 人と自然の関係（生態系サービス、生物資源の持続可能な利用など）

なお、以下のような研究は助成の対象外とします。

- ◆ 農林水産業の産業展開を目指す研究
- ◆ 個人では実施困難な大規模で多岐にわたる内容の研究
- ◆ 他機関からの研究費等を既に受けている研究
- ◆ 研究計画の主要部分が既に終了している研究

## 6. 助成期間

原則 2 年間（ただし、応募資格 B の申請者については最長 3 年間）とします。

## 7. 助成金額

1 件当たりの助成金額の上限は概ね 150 万円から 250 万円とします。ただし、応募資格によって、助成金額は変動します（下の表を参考にしてください）。

### (1) 応募資格 A の場合

1 件当たりの研究費の上限を 150 万円とします。研究費には、自国あるいは対象国（以下、「現地」とします）における PS の旅費（交通費と宿泊費、食費など）が含まれます。ただし、PC が PS の研究を指導・支援するための旅費等（渡航費用と現地の交通費、宿泊費、食費など：国内旅費や保険等も含めてください）と PC の管理費（年度別の研究費の概ね 5%）は別途支給します。

### (2) 応募資格 B の場合

応募資格が B の場合は、助成金はすべて PC に送金します。また、予算の作成にあたっては PS と PC が相談し、PS の申請書に書き入れてください。

- ◆ B-1（野外調査の場所が自国あるいは対象国の場合）：  
1 件当たりの研究費の上限を 150 万円とします。ただし、PS および PC の旅費等（渡航費用と現地の交通費、宿泊費、食費など：国内旅費や保険等も含めてください）と PC の管理費（年度別の研究費の概ね 5%）は研究費に含まず、別途支給します。
- ◆ B-2（野外調査の場所が日本の場合）：  
1 件当たりの研究費の上限を 150 万円とします。研究費には、PS および PC の日本

国内での調査地への旅費等（交通費、宿泊費、食費など：保険等も含めてください）が含まれます。ただし、PCの管理費（年度別の研究費の概ね5%）については、別途支給します。

		研究費の 上限	現地 での交通費	日本国内 での旅費	渡航旅費	管理費
応募資格 A	PS	150万円	旅費として 研究費に含む	-	-	-
	PC	-	別途支給	-	別途支給	別途支給
応募資格 B-1	PS	150万円	別途支給	-	別途支給	-
	PC	-	別途支給	-	別途支給	別途支給
応募資格 B-2	PS	150万円	-	研究費に含む	-	-
	PC	-	-	研究費に含む	-	別途支給

## 8. 助成費の対象について

### 8.1 助成対象になる費用

- ◆ 調査旅費（交通費、宿泊費、食費など）
- ◆ 調査研究に必要な消耗品費（採集器具、試薬類など）
- ◆ 日常業務を除く、データ収集等の調査研究に必須の謝金（野外調査助手、現地のガイドなど）
- ◆ 研究の遂行に必須の資料（報告書、書籍）などの購入費
- ◆ 研究成果の社会還元活動経費（プロジェクトに密接に関連する活動に限る）（なお、現地あるいは日本での学会やワークショップで、さらに PS が発表者となる場合に限りて認めます）

### 8.2 原則として助成対象にならない費用

- ◆ PS 及び PC の人件費
- ◆ 汎用性の高い機器（例：パソコン、顕微鏡、GPS、カメラなど）の購入費
- ◆ PS 及び PC が所属する組織の間接経費・管理費・共通経費

## 9. 応募の手順

### 9.1 申請書類のダウンロード

- ◆ PS は、当財団のウェブサイト（URL: <https://www.nagaofoundation.or.jp/research/cgf.html>）から応募資格に対応した“CGF Application Form for Project Scientist (PS)”をダウンロードしてください。
- ◆ PC は、上記の URL から PS の応募資格に対応した“CGF Application Form for Project Coordinator (PC)”をダウンロードしてください。
- ◆ PS も PC も応募資格によって申請書が異なりますので、間違いがないようご注意ください。

## 9.2 申請書類の作成

- ◆ PS は、PC と連絡を取りながら“CGF Application Form for PS”を作成してください。
- ◆ PC は、“CGF Application Form for PC”を作成し、PS に送付してください。

## 9.3 申請書類の提出

- ◆ PS は、“CGF Application Form for PS”と PC から送付された“CGF Application Form for PC”の両方を、PDF ファイルに変換して、当財団事務局（cgf@nagaofoundation.or.jp）に提出してください。

## 9.4 応募締切日

年 2 回募集を行い、第 1 回の締切りは 2023 年 7 月 31 日、第 2 回の締切りは 2024 年 1 月 31 日です。

## 10. 選考方法

当財団役員と外部有識者から構成される CGF プログラム運営委員会（MC）が、当財団事務局の支援を受け、以下の基準をもとに厳正に選考を行います。

- ◆ 本プログラムの趣旨である自然環境保全への適合性
- ◆ 研究内容のオリジナリティと研究水準
- ◆ 研究計画・研究スケジュールの妥当性
- ◆ 予算の合理性と有効性
- ◆ PS の研究能力と経験（研究業績を含む）
- ◆ PS への研究上の助言者としての PC の教育・研究指導経験
- ◆ PS と PC との連携

選考過程で、MC は必要に応じ、事務局を通じて申請内容についての疑問点等を PC あるいは PS に照会することがあります。また、選考過程で、提出された予算案を減額する可能性があります。

## 11. 選考結果の通知

選考結果について、応募締切日から 3 ヶ月後までに PS および PC に電子メールまたは書面で報告するとともに、当財団のウェブサイトで公表します。当財団事務局は、採択されたプロジェクトの PS と PC に、採択後の事務局との連絡スケジュール、研究費振込み方法、そのほかプロジェクトの円滑な推進のための情報を連絡します。

## 12. 採択後の PS と PC のスケジュール等

プロジェクト採択後に、PS が PC と協働して作成し、事務局に提出する必要がある報告書は以下の 3 つです。

第 1 は、採択後 3 ヶ月以内に提出する 1 ページ程度の報告書（野外調査を含む調査研究の初動に関する状況）です。

第 2 は、調査研究開始 1 年後から 1 ヶ月以内に提出する進捗報告書で、会計報告を含む数ページのものです。

第 3 は、プロジェクト終了後 3 ヶ月以内に提出する会計報告を含む最終報告書です。

PS と PC (応募資格 B の場合は PC のみ) は、できるだけ早く、研究費の送金先の詳細な情報 (金融機関名、住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス、および口座名義人や口座番号など) を当財団事務局に連絡してください。初年度の研究費について、当財団事務局がこれらの情報を確認後に、PS および PC (応募資格 B の場合は PC のみ) に送金します。なお、2 年目以降の研究費については、当財団事務局が進捗報告書を受領し、同報告書が承認された後に送金します。

### 13. 問合せ先及び申請書類提出先

公益財団法人長尾自然環境財団

住所：〒130-0021 東京都墨田区緑 4-20-9 宮野ビル 3 階

電話番号：03-6659-2070

ファックス番号：03-6659-2272

e-mail: [cgf@nagaofoundation.or.jp](mailto:cgf@nagaofoundation.or.jp)

URL: <https://www.nagaofoundation.or.jp/>